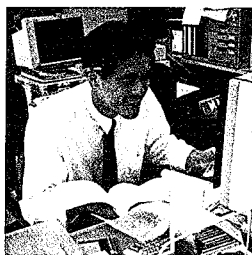


随想

(272)

*このコーナーは、寄稿者が次の寄稿者を紹介して随想をリレーしていくコーナーです。



リレー

新津の巨樹・名木④



ウメ(梅)

(川根)

このウメは、信濃川の右岸、通称中島と呼ばれていた長さ800m、幅200m程の島の中に植栽されていたもので、土地の人の話では、中島にあったウメの中で一番の古木であろうといわれています。中島は、かつてナシ、モモ、ウメなどの果実畑と、それらの苗木の圃場として利用されていました。

その後、このウメは、平成4年秋に開設された「信濃パレー親水レクリエーション広場」の造成工事に伴い、ほかの幾本かの樹木と共に現在の場所に移されました。地面直上部の幹回り1.8m、高さ3.5m、樹齢は約120年と推定され、ウメの種類は果実用の「藤五郎」です。

ウメは古くから鑑賞用の花として栽培されてきましたが、ウメの実が文献に現れたのは鎌倉時代以降で、果実を食用にしたのは17世紀に入ってからだといわれています。

放送に気分をゆだねる。寝ているのか起きているのか不明瞭な状態なので極めて危険だ。曲がるとき道を走り過ぎるのもこんな時だが、最初から曲がるときはなかつたとい気にも留めないのが良い。

さて、小一時間もうすとなあたりは見慣れた光景となり、次第に気持ち開放されてくる。いよいよ暗くなり始めたたら帰路につく。

このパトンを秋葉一の金子泰之さんにリレーします。

車でちよつと

明

間

研(中野5)

ドライブが好きだ。わが家から見える風景の中で適当に気に入った映像を見つけたら、フイと走り出す。暇にまかせた地図と目的地のない、いい加減なドライブが始まる。

家を出てしばらくは見慣れた風景が続くので、好きな音楽やFMドライブになってきたのだ。死んでいた目に活力が蘇り、流れる風景をガキのようにむさぼる。重なる山々から覗く高峰の白い頂、車に驚かされて木に登った野生の猿、岸辺の風景を白く濁らす冬の波しぶき、山深い集落のかやぶき屋根の家々と隣の耐雪コンクリー

往路での印象が強いほど、感傷的になってしまふようだ。友人がいれば深いような浅いような話をし、ひとりの時はFM放送のおハギコナーに没頭する。自分の愚考にハツとしたり、重大決心をしたりするのはこんな時だ。たりもする。出発時と全く違う方向から家に着く。タイミング良く曲が終わると、思わずニヤリとしたくなる。楽しい旅行も終わってしまった。迫りくる現実には舌打ちをしながら家に入る。

買って四年目の愛車の距離計は、十三万に近い数字を刻んでいる。それなりに思い入れも感じる。しょうがないので、大切に乗りつてやろうと思う。謹賀新年

新津市の人口

男	32,174(+26)	} 11月30日現在 (内は前月比)			
女	34,442(+9)				
計	66,616(+17)				
世帯数	19,060(+25)				
11月中の動き					
出生	46	死亡	44	転入	157
転出	142	結婚	34	離婚	4

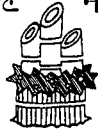
お買物、ご用命は市内で

新年のごあいさつを 申し上げます

ことしもよろしくお願ひ
致します。



コーヒー祭り 100g 280円
1月は6日(金)、7日(土)、8日(日)の3日間



ケーキとコーヒーの店
にい **おサカヤ**
本町2 ☎22-0112